

基礎プログラミングの講義が人生に影響することは、プログラミング言語を使う使わないは別にして、論理的思考で物事を考えることが出来るようになり、人生で困難なことにあった場合に、冷静にとらえて、客観的に困難を見ることができ、解決への方法を見つけることが出来るであろう。プログラムが動かずにいろいろ試行錯誤して動いたときの感動のように、困難を解決できた時の喜びもまた大きいものであろう。またチームでの作業を協調して行ったように、様々な人々と、作業又は仕事をしていく上での、協調性が身についたのではないかと思う。就職すれば、年齢、性別などは関係無しに、多くの人と知り合い仕事や取引をしていくことになるが、その訓練の一貫として、チーム作業は非情に大切なものであったと考える。

またUNIXを使ってきた事により、高いシェアを占めるWindowsやIEでなくてもパソコンは使えるということを学んだと思う。メモ帳などでもプログラムは書くことができるが、emacsを使うことにより、Windowsよりさらに便利に使うことを学んだ。このことは、「多くの人が使っているから」や「かっこいいから」などと言う事ではなく、機能重視で選ぶことを学んだと思う。私は元々少数派を自認してきたが、コンピューターに関しては、自宅にUNIXがあるにもかかわらず、使用してこなかった。人間はこれでなければ駄目だという固定観念に捕らわれがちになるが、様々なものに挑戦したり、することもUNIXという今まで使用してこなかったOSを使うことによって学んだと思う。このことは自分の視野を広げ今までチャレンジしてこなかった事にも、チャレンジしてみようという精神力の強さが養われたのではないかと思う。

またプレゼンを作成し、発表するというのがこの講義でありましたが、このことはこれから社会に出れば、たくさんする機会があると思う。よってこの経験は、これからプレゼンをするときに、かなり役立つはずである。この講義全体を通してしてみると、文系、理系の区別なく、人生に役立つことが沢山あったと思う。理解できるまで、自分で検索して調べたり、本で調べたり、また先輩のTAに尋ねたりと、自分なりに理解するまで何度も復習し、その結果として課題のレポートを遅くはなりながらも完成することができ、やり通す力や忍耐力が我々学生に身についたことであろう。多くの学生がそうであったように、私もプログラムはまったくの初心者であったが、ある程度プログラムを書くことができるようになった。このように自分が苦手だということにも、初めから諦めること無く取り組み、最後まで実行しやり遂げたときは、この講義のことを思い出すであろう。仕事となると、今までだらだらプログラムに取り組んできたようなことは許されず、時間も求められると思うので、講義でノートを取っていたように一度聞いたことは忘れないようにメモなどをして、これからの社会生活に今までプログラムで習得したことを活かしていけたら幸だと思ってい

る。